

七月三十一日に福島を出発した「子どもひまわり大使」たちは、岡山県笠岡市へと向かった。一日目はカブトガニ博物館を見学。その後本土を離れて笠岡諸島最大の北木島へ向かった。八月一日は飛島へと移動し、地元の大島中学校、龍谷高校の子どもたち、そして福島から笠岡に避難した家族との交流が行われた。八月二日は、笠岡市で毎年開催されている「ひまわりフェスティバル」に参加。ステージへと登壇し、笠岡市の皆さんへ感謝の言葉を伝えた。その後美星天文台を見学。夜は新山地区自治会の皆さんと交流をした。昨年の大使派遣の際に植樹し

# ひまわり交流報告⑦

## 子どもひまわり大使

7月31日～8月6日  
岡山県、福岡県、熊本県



▲ 7/31～8/2 笠岡訪問の様子。瀬戸内海での海洋体験も満喫した子どもたち。



▲ 8/5小国町訪問の様子。広大な敷地に咲き誇るひまわり！圧巻です。

た福島県の木であるけやきも、笠岡の地で順調に育っていた。八月三日は笠岡を発ち、一路福岡へ。グリーンコープの皆さんと合流後、糸島市にある遊学舎の皆さんと交流をした。「またいちの塩」製造所を見学後、柳川市へと向かった。柳川市では、「無名舎こどもの家」の子どもたちと交流をし、八月四日の朝には、有明海の干潟でムツゴロウ釣りや潟スキー体験をした。その後福岡を離れ、熊本へ。合志市にあるサンシャイワークスの皆さんと交流をし、その後阿蘇の大観峰を見学。夜はグリーンコープ熊本の皆さんと

無添加チョコ作り体験などを通して交流した。八月五日は阿蘇の農場で農業体験をして、午後には小国町役場を訪れ、感謝の言葉を伝えた。八月六日は北里柴三郎記念館を見学した後、福岡空港へ移動し、福島へと向かった。今回の大使たちは感謝の気持ちだけでなく、計五回に渡り、各地で福島の現状や復興を伝えてきた。事前に福島の農家や森林施設などで学んだことや感じたことを発表し、現地の人々は、聞きながら感心した様子で聞いていた。福島の今を伝え、未来へと続く絆づくりができた交流だったのではないかと思います。(事務局・川島)

### ◇ 学生インターンシップ・吉田さんも参加してくれました。

シャロームにインターンシップに来てくれていた学生の吉田さんがひまわり交流に参加し、感想を寄せてくださいました。



私は、今年の七月からシャロームでインターンシップをしている、桜の聖母短期大学キャリア教育学科一年の吉田萌乃（よしだもえの）です。今回は引率者として参加させていただきました。

一番印象的だったのは「子どもひまわり大使」の使命である、福島の復興と現状を派遣先の皆さんに伝えたことです。それは、福島での事前学習での学びと、そこでの「子どもひまわり大使」の感じたことをまとめ、派遣先で発表をすることで達成しました。みんな感性が豊かで、事前学習ではたくさん感想をお互いに共有し、子どもたちにとっても大変プラスになったと思います。また、派遣先では発表を重ねることに成長していく姿が見られました。聞き手に伝わりやすいように文章を変

えていたり、発表後バスの中で「もっと伝えたいことがあった」と話している子もいたり、反省をうとしていました。多少の疲れは見られましたが、責任感を強く感じ、それぞれ自分の役目を果たして感動した七日間でした。派遣先では様々な人に出会い、貴重な体験をさせていただきました。実際に目で見たり、肌で感じたりすることの大切さを痛感しました。ありがとうございました。(吉田萌乃)

シャローム HP 内に  
ひまわりプロジェクト  
特設ページができました！

URL

<http://himawariproject.com>

ひまわりプロジェクトの最新情報や協力者さんたちの声などをご紹介します。ぜひご覧ください！